

なかの生涯学習大学の再編の考え方について

1. 現在のなかの生涯学習大学について

(1) 経緯

区においては、シニアを対象として、平成21年4月から、毎年、受講生を募集し、3年間の進級制の「なかの生涯学習大学」を実施してきた。

*昭和48年4月に「ことぶき大学」としてスタートし、平成21年4月に「なかの生涯学習大学」に移行した。

(2) 目的

- 自己啓発をとおして、生きがいをもち、地域の中で新しいライフスタイルを創造する。
- 自らの豊かな経験を活かして、ともに学び合いながら、地域のために活動する意欲を培う。
- 地域で活動できるよう、必要な知識・技術を高め、地域社会への主体的参加の促進を図る。

(3) 実施内容等の概要

- ①対象：55歳以上の区民で、ひとりで無理なく通学・受講できる方 *再受講不可
- ②実施形式等：3年間の進級制。各学年年間21講座（開講式を除く）開講
- ③学びの概要：中野区の歴史や特色などを学ぶとともに、地域・社会活動を円滑にスタートするための知識や技術を高め、仲間づくりを進める。
 - 1学年：学習をとおして仲間をつくるとともに、中野区について理解を深める
 - 2学年：講義のほか、ゼミ学習を通じて、専門テーマについて関心を深める
 - 3学年：講義・ゼミを通じて、卒業後に向けてより実践的な学習を行う
- ④受講料：年間5,000円
- ⑤企画・運営：令和2年度から地域支えあい推進部が所管し、企画・運営・全体調整を行っている。

(4) 受講者数の推移 *定員：各学年200人 (人)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
1学年	108	178	103	124	144	122
2学年	59		103	120	108	175
3学年	73		110	102	156	139
合計	240	178	316	346	408	436

※令和2年度：新型コロナウイルス感染症対策のため休講とし、全学年合同の臨時企画プログラムを実施。

※令和3年度：令和2年度を受講予定者を対象として実施。1年生については追加募集を行った。

(5) 受講生及び卒業生の現状

①受講生の地域活動経験や受講の目的・卒業後の意向等

入学時等に地域活動の経験の有無、受講の目的・卒業後の意向など詳細は確認していない。

②卒業生アンケート調査（平成29年度～令和2年度実施分）から

○受講前の地域活動について

- ・最も多いのは「地域の町会・自治会」（平均25%） *平成29年度・平成30年度

○卒業後に始めた活動または現在参加している地域活動について

- ・上位は「地域ことぶき会」（平均45%）、「地域で行う趣味」（平均40%）。次いで「地域まつり・バザー」（平均26%）、「地域の町会・自治会」（平均25%）

○入学前と比べて変わったことについて

- ・上位項目は「地域の友人や知人が増えた」（平均80%）、「区や地域に関心をもった」（平均60%）、「地域活動やボランティアへの参加」（平均48%）

○「興味がある活動」や「今後やってみたい活動」（自由記載）について

- ・今後やってみたい活動として、多彩な活動が挙げられている。
- ・一方で、「活動したいが方法がわからない」「町会等の情報がわからない」「町会との接点がなく、参加の機会が得られない」といった意見も見受けられる。

(6) 課題

なかの生涯学習大学及び受講生・卒業生の状況から見えてくる課題は次のとおり。

- ①受講生が定員に満たない状況が続いている。
- ②これに伴い、区民活動センターを単位とした地域班の活動が学年ごとで行いにくい状況が生じている。
- ③受講生の意向を聴きながら企画しているが、受講生一人ひとりの関心や興味、活動経験等にに応じた選択肢は用意できていない。
- ④区民による地域での多彩な活動を具体的に紹介したり、こうした活動につながる機会を提供したりする講座は、3年間で5講座程度である。また、講座・ゼミ学習等において、地域を知り・地域で活動するために必要な地域情報の提供等が必ずしも十分とはいえない。
- ⑤卒業生アンケート調査で「今後やってみたい活動」として多彩な活動が挙げられており、受講生や卒業生に対する卒業後の活動につながる情報提供や支援等が必要である。

2. 再編の基本的な考え方について

なかの生涯学習大学について、中野区基本構想の改定及び中野区基本計画の策定をうけ、生涯学習の機会を充実するとともに、地域での活躍を応援する取組の一環として再編する。このことにより多様な団体や人材の参加による地域包括ケア体制を推進し、人生100年時代にあって多様化しているシニア世代の活躍支援のニーズに応えていく。

(1) 中野区基本構想及び中野区基本計画を踏まえ、生涯学習を支援する機能と地域での活躍を応援する機能をそれぞれ充実する。

○中野区基本構想に掲げる「互いに力を合わせる協働と、新たな価値を創造する協創を深めます」「一人ひとりが豊かな人生を歩むための新たなチャレンジを応援します」の実現を目指す。

○中野区基本計画に掲げる「政策2 地域愛と人のつながりを広げる」及び「政策15 生涯を通じて楽しく健康に過ごせる環境をつくる」を推進する取組として位置づける。

- (2) 現在のなかの生涯学習大学の課題に対応しつつ、生涯学習を地域につなげる目的や魅力・よさを引き継ぐことを基本とする。
- (3) 区内の大学、関係機関や関係団体・人材など、区内の多彩な社会資源との連携により企画・運営する。
- (4) シニア世代が継続して学べるよう、再編によって空白期間を生じさせないことを基本とする。現在のなかの生涯学習大学は在校生が卒業するまで継続して開講する。

3. 再編による新しい事業について *詳細は別添資料参照

(1) 事業名：(仮称) 令和なかの生涯学習大学

(2) 目的

なかの生涯学習大学の目的を踏襲することを基本とし、次のとおりとする。

- ・自己啓発をとおして、生きがいをもち、地域の中で新しいライフスタイルを創造する。
- ・自らの豊かな経験を活かして、ともに学び合いながら、地域のために活動する意欲を培う。
- ・地域で活動できるよう、必要な知識・技術を高め、地域社会への主体的参加の促進を図る。

(3) 対象

原則として55歳以上の区民

(4) 内容(案)

①目的を踏まえたコース・講座の考え方

目的	再編後のコース・講座
自己啓発をとおして、生きがいをもち、地域の中で新しいライフスタイルを創造する。	▶地域で学ぶコース 【生涯学習】
自らの豊かな経験を活かして、ともに学び合いながら、地域のために活動する意欲を培う。	▶地域で学ぶコース・地域での活躍応援コース 【生涯学習・公益活動推進】
地域で活動できるよう、必要な知識・技術を高め、地域社会への主体的参加の促進を図る。	▶地域での活躍応援コース 【公益活動推進】

②必修講座と選択制の講座等を組み合わせた体系

●必修講座：2講座

本事業で学ぶためのオリエンテーションと終了後のフォローを目的として実施する。

○学びの入門講座：年度当初実施

○学びの修了講座：年度末実施

*いずれも2回の連続講座で、入学希望者数に応じて、同じ講座を1～3回開催予定

●選択制の講座等：2コース

次の講座等から選択して受講する選択制を基本とする。2つのコース受講も可とする。

○地域で学ぶコース：3種類の講座等で構成

- ・大学との連携で生き方や地域の課題を学ぶ
- ・なかのZEROで中野を学ぶ
- ・区民がつくる学びの場で仲間と学ぶ

○地域での活躍応援コース：3種類の講座等で構成

- ・地域で活躍するための資格等を得る
- ・地域デビューに必要な知識・情報を得る
- ・地域で活躍する団体・人材とつながる

(5) 受講料

各コースの講座ごとに設定予定

4. 企画及び運営等について

(1) 企画・運営等の体制

地域支えあい推進部が、区民部と連携しながら全体調整及び企画・運営を行う。

(2) 運営委員会の設置

本事業の企画及び運営等について協議・検討するため、学識経験者委員、関係団体からの推薦委員、公募委員などで構成する委員会を設置する。

5. 今後のスケジュール

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| ○令和3年10月～11月 | 在校生・卒業生ほか広く区民を対象とした説明と意見交換 |
| ○令和3年12月 | なかの生涯学習大学の再編（案）の議会報告(厚生委員会) |
| ○令和3年12月～令和4年1月 | 在校生・卒業生ほか広く区民を対象とした説明と意見交換 |
| ○令和4年3月 | なかの生涯学習大学再編の議会報告(厚生委員会) |
| ○令和4年6月（予定） | 再編後の新たな事業開講 |

■なかの生涯学習大学再編後のシニアを対象とした学びと地域での活躍を応援する事業の流れと全体像について（案） ～ON-LINE とライブの併用による

資料

【学びの流れ】 *募集時期：5月 *開講時期：6月

年間プログラムを公表・募集 ▶コース・講座を選んで申込 ▶入門講座（必修：受講するコース・講座を確定） ▶それぞれ選んだコース・講座を受講 ▶終了講座（必修：学び・活動につなぐ）

※複数のコース・複数の講座の受講可。翌年度以降、再受講も可

【学びの体系・全体像】

★；新規／☆：既存事業の再編等

		(仮称) 令和なかの生涯学習大学							
		地域での学びを活かす (必修)		地域で学ぶコース (各講座選択制)			地域での活躍応援コース (各講座選択制)		
		(仮称) 令和なかの生涯学習大学での学び入門講座★	(仮称) 令和なかの生涯学習大学での学び修了講座★	(1)大学との連携で生き方と地域の課題を学ぶ★	(2)なかのZEROで中野を学ぶ☆	(3)区民がつくる学びの場で仲間と学ぶ★	(4)地域で活躍するための資格等を得る (各部課等実施事業の再構築) ☆	(5)地域デビューに必要な知識・情報を得る★	(6)地域で活躍する団体・人材とつながる<出口支援>★
対象	年齢	原則として 55 歳以上の区民							
	要件	(仮称) 令和なかの生涯学習大学の各講座を受講する方	(仮称) 令和なかの生涯学習大学の各講座を受講した方 *地域で学ぶコース受講生は必修	仲間とともに学び、人生を豊かにしたい方 *地域活動経験の有無等を問わず	仲間とともに中野を学び、人生を豊かにしたい方 *地域活動経験の有無等を問わず	中野について学ぶとともに、地域で仲間とともに活動したい方	地域で活躍するために必要な資格等を取得したい方 *各講座ごとに定める	地域での活動経験がなく、中野について知り、地域デビューに必要な知識・情報を得たい方	地域での活動経験がなく、地域で活動する団体や人材とつながりたい方 * (4)(5)の受講が要件
	目的	(仮称) 令和なかの生涯学習大学の目的・講座の選び方や学び方の確認	(仮称) 令和なかの生涯学習大学)で学びの振り返り・どう活かすかの確認	中野で仲間とともに現代社会・地域課題について学ぶ	仲間とともに中野の歴史・文化・地域の取組などについて学ぶ	区民が企画・提供するプログラムで学び、地域での活動につなげる	地域での活動で活かせる資格等を取得するために学ぶ	地域で活動するために必要な知識・スキルを学び、情報を得る	地域で活動する団体や人材と交流し、つながる機会を提供する
	内容	①ガイダンス ②中野のまちの現状と課題 ③地域で学び、地域で豊かに生きるために	①学びの振り返り ②学びを地域で活かすために ③学びを活かす支援の案内	各大学の公開講座等のなかから選定した内容	①中野の歴史・地理・文化等 ②中野の自治の歴史と地域の取組の現状・課題等	区民が企画し・提供するプログラム *基金助成等活用による支援	①各部課が実施する講座 ②コーディネーター養成講座 ③地域活動応援！講座 (社会福祉協議会)	①なかののまちを知る ②地域に必要なコミュニケーション力等 ③地域の活動を知る・体験する ④地域とつながる・団体の立ち上げ等 ⑤オンラインスキル *伴走型の支援あり	自分がやりたいことを探す講座と地域とつなぐための個別相談・アセスメント・助言・情報提供・支援 *伴走型支援あり ①地域デビュー入門講座 *自分がやりたいことを探す ②個別相談・支援
	形式	講義・グループワーク	講義・グループワーク	講義 (・グループワーク)	講義・グループワーク	講義・グループワーク	各講座ごとに定める	講義・グループワーク	講義・個別相談等
	回数	2回連続講座×1～3回	2回連続講座×1～3回	20回程度 *選択可	10回程度 *選択可	20回程度		10回連続講座	2回連続講座・個別相談
	定員	100人程度	100人程度	200人程度	100人程度	100人程度		50人程度	100人 *個別相談等は1人2～5回程度
	開始予定	令和4年度	令和4年度	令和5年度	一部実施：令和4年度 本格実施：令和5年度	一部実施：令和4年度 本格実施：令和5年度	既存事業：令和4年度 新規事業：令和5年度	令和4年度	令和4年度
	実施主体	区民部／地域支えあい推進部	区民部／地域支えあい推進部	区民部	区民部	区民 *地域支えあい推進部・区民部が支援	各所管部・社会福祉協議会 *地域支えあい推進部調整	地域支えあい推進部	地域支えあい推進部
	フォロー			* (2)～(5)の講座等	* (1)(3)～(5)の講座等	* (1)(2)(4)(5)の講座等	* (1)～(3)(5)(6)の講座等	* (1)～(4)(6)の講座等	* (1)～(5)の講座等